

厚生労働省  
群馬労働局発表  
平成31年4月26日

## 【照会先】

群馬労働局労働基準部健康安全課  
課長 大村 悦男  
主任産業安全専門官 塩野 泉  
監督官 杉本 彩矢香  
(電話) 027-896-4736  
(夜間直通) 027-896-4901

## 労働災害発生状況について

### － 平成30年の労働災害による死傷者数が確定しました －

#### 1 平成30年の労働災害の発生状況（図表1から図表5）

休業4日以上死傷者数は2,432人、そのうち20人の方が亡くなっています。

#### 【ポイント】

- ・ H29年に比較し死傷者数は156人増加（H29年の2,276人より6.9%増加）
- ・ 死亡者数はH29年と同数の20人
- ・ 死傷者数の多い業種は製造業の792人、続いて、商業、運輸交通・貨物取扱業
- ・ 死傷者の被災時の業務経験年数は1年以下が30.1%、3年以下が47.7%、製造業では3年以下が43.2%

#### 【対策】

死傷災害は昭和54年の6,325人を最多に、以降減少し近年は2,000人台で増減を繰り返しています。第13次労働災害防止計画に基づき、労働災害が増加傾向にある業種等に対し、効果的かつ効率的な対策を推進します。

#### 2 平成31年の労働災害の発生状況（図表6から図表7、参考）

休業4日以上死傷者数は、1月から3月までの累計で397人、そのうち3人の方が亡くなっています。

#### 【昨年同期に比較した特徴】

- ・ 死傷者数は1人減少（昨年同期は398人）
- ・ 死亡者数は5人減少（昨年同期は8人）
- ・ 業種別で見ると、死傷者数は食料品製造業（28人→43人）において増加、道路貨物自動車運送業（60人→49人）において減少

#### 【対策】

食料品製造業において43人中機械等への「はさまれ・巻き込まれ」が9人、「転倒」が9人となっています。

第13次労働災害防止計画に基づき、引き続き機械等によるはさまれ・巻き込まれ災害の防止対策を推進します。

(1) 業種別

ア 死傷者数が多い業種

業種別	死傷者数	前年同期	前年同期比増減数	増減率	全産業に占める割合	
製造業	792	697	95	13.6%	32.6%	
食料品	224	213	11	5.2%	製造業 に占め る割合	28.3%
金属製品	136	118	18	15.3%		17.2%
輸送用機械器具	102	94	8	8.5%		12.9%
建設業	270	238	32	13.4%	11.1%	
土木工事	65	61	4	6.6%	2.7%	
建築工事	163	138	25	18.1%	6.7%	
その他の建設	42	39	3	7.7%	1.7%	
運輸交通・貨物取扱業	321	319	2	0.6%	13.2%	
道路貨物運送	292	274	18	6.6%	12.0%	
商業	325	315	10	3.2%	13.4%	
小売業	254	237	17	7.2%	10.4%	
保健衛生業	232	210	22	10.5%	9.5%	
社会福祉施設	175	147	28	19.0%	7.2%	
その他	492	497	-5	-1.0%	20.2%	
合計	2,432	2,276	156	6.9%	100.0%	

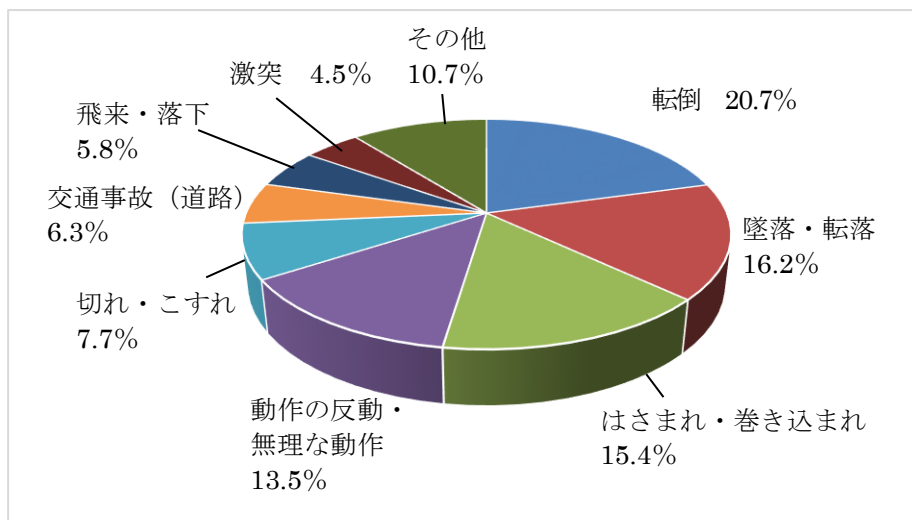
イ 死亡災害発生状況

業種	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
製造業	3	3	7	3
建設業	3	3	3	6
運輸交通・貨物取扱業	0	2	3	3
農林業	0	1	2	3
商業	1	1	1	0
保健衛生業	1	0	0	1
接客娯楽業	1	1	1	1
その他	2	3	3	3
合計	11	14	20	20

(2) 事故の型別の状況

ア 全産業

業種	転倒	墜落・ 転落	はさまれ・ 巻き込まれ	動作の反動・ 無理な動作	切れ・ こすれ	交通事故 (道路)	飛来・ 落下	激突	その他	合計
全産業	504	395	375	328	187	141	132	109	261	2,432
割合	20.7%	16.2%	15.4%	13.5%	7.7%	5.8%	5.4%	4.5%	10.7%	100.0%
前年増 減比	8.6%	3.4%	9.3%	6.1%	32.6%	-2.1%	-3.6%	-7.6%	9.7%	6.9%



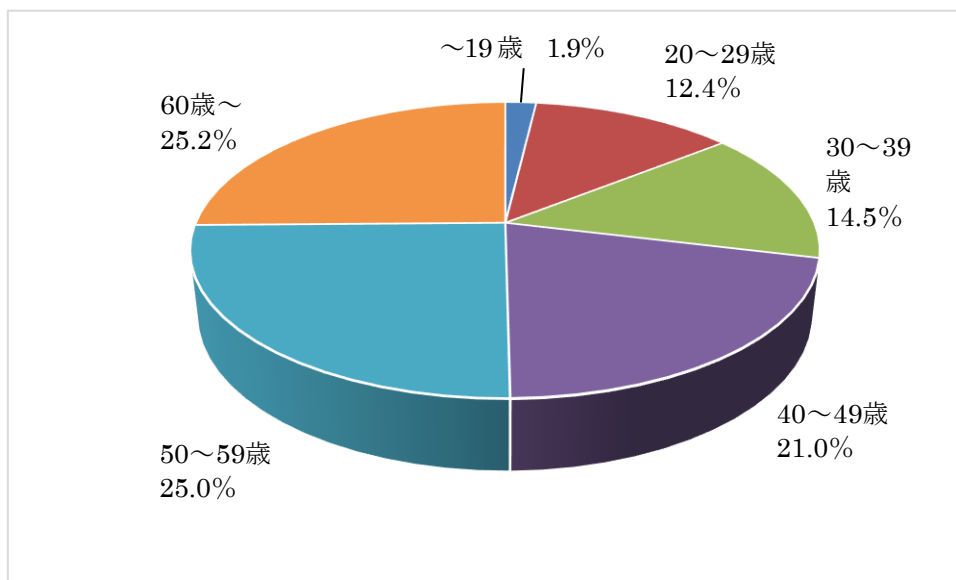
イ 死傷者数が多い業種

業種	転倒	墜落・転落	はさまれ・巻き込まれ	動作の反動・無理な動作	切れ・こすれ	交通事故(道路)	飛来・落下	激突	その他	合計
製造業	141	83	213	82	91	5	63	32	82	792
割合	17.8%	10.5%	26.9%	10.4%	11.5%	0.6%	8.0%	4.0%	10.4%	100.0%
前年増減比	21.6%	16.9%	7.6%	10.8%	65.5%	-58.3%	10.5%	-3.0%	1.2%	13.6%
建設業	25	87	39	20	23	9	22	11	34	270
割合	9.3%	32.2%	14.4%	7.4%	8.5%	3.3%	8.1%	4.1%	12.6%	100.0%
前年増減比	31.6%	13.0%	34.5%	11.1%	-14.8%	-18.2%	-8.3%	10.0%	47.8%	13.4%
運輸交通・貨物取扱業	48	96	43	42	8	18	13	21	32	321
割合	15.0%	29.9%	13.4%	13.1%	2.5%	5.6%	4.0%	6.5%	10.0%	100.0%
前年増減比	2.1%	5.5%	7.5%	-2.3%	166.7%	-40.0%	-40.9%	23.5%	23.1%	0.6%
卸売・小売業	64	33	28	48	23	47	11	15	25	294
割合	21.8%	11.2%	9.5%	16.3%	7.8%	16.0%	3.7%	5.1%	8.5%	100.0%
前年増減比	-26.4%	6.5%	-6.7%	37.1%	15.0%	27.0%	0.0%	-6.3%	25.0%	2.4%
社会福祉施設	63	7	2	61	7	6	2	6	21	175
割合	36.0%	4.0%	1.1%	34.9%	4.0%	3.4%	1.1%	3.4%	12.0%	100.0%
前年増減比	40.0%	-12.5%	-33.3%	17.3%	16.7%	66.7%	0.0%	-50.0%	37.5%	19.0%

(3) 年齢別の状況

ア 全産業

業種	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
全産業	46	302	352	511	607	614	2,432
割合	1.9%	12.4%	14.5%	21.0%	25.0%	25.2%	100.0%
前年増減比	7.0%	3.8%	-7.1%	9.9%	11.8%	10.6%	6.9%

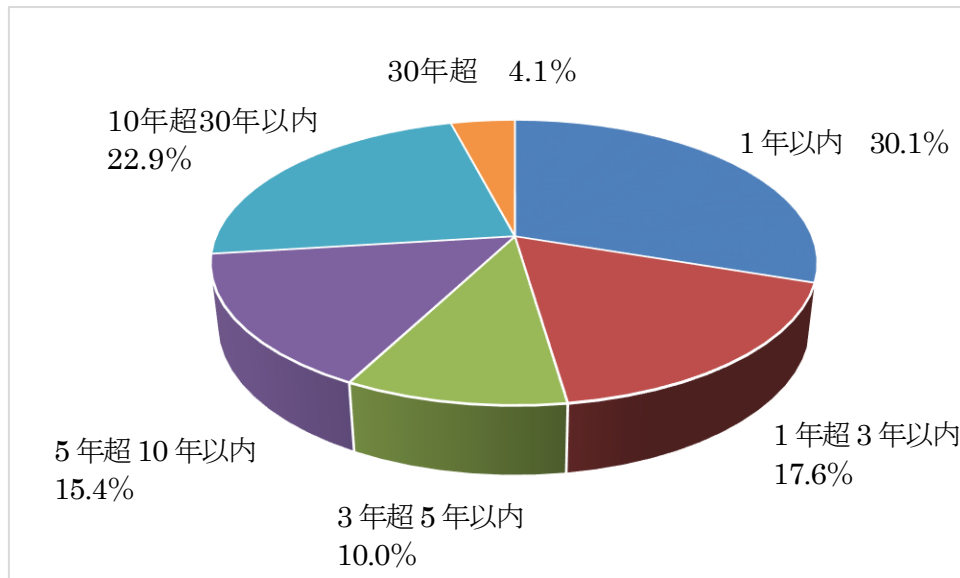


#### イ 死傷者が多い業種

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
製造業	13	117	147	170	198	147	792
割合	1.6%	14.8%	18.6%	21.5%	25.0%	18.6%	100.0%
前年増減比	-27.8%	-3.3%	13.1%	25.0%	31.1%	4.3%	13.6%
建設業	6	40	43	56	44	81	270
割合	2.2%	14.8%	15.9%	20.7%	16.3%	30.0%	100.0%
前年増減比	-25.0%	-11.1%	-4.4%	30.2%	7.3%	44.6%	13.4%
運輸交通・貨物取扱業	2	22	34	93	115	55	321
割合	0.6%	6.9%	10.6%	29.0%	35.8%	17.1%	100.0%
前年増減比	0.0%	-4.3%	-26.1%	-1.1%	17.3%	-5.2%	0.6%
卸売・小売業	9	38	43	56	72	76	294
割合	3.1%	12.9%	14.6%	19.0%	24.5%	25.9%	100.0%
前年増減比	200.0%	81.0%	-15.7%	-3.4%	-18.2%	15.2%	2.4%
社会福祉施設	2	8	24	29	53	59	175
割合	1.1%	4.6%	13.7%	16.6%	30.3%	33.7%	100.0%
前年増減比	200.0%	-55.6%	41.2%	-6.5%	65.6%	20.4%	19.0%

#### (4) 経験年数別の状況

	1年以内	1年超3年以内	3年超5年以内	5年超10年以内	10年超30年以内	30年超	合計
全産業	733	427	242	374	557	99	2,432
割合	30.1%	17.6%	10.0%	15.4%	22.9%	4.1%	100.0%
前年増減比	9.9%	4.4%	13.1%	1.1%	7.9%	-1.0%	6.9%



## 6 添付資料等

図表1 「群馬労働局管内の労働災害の推移」

図表2 「平成30年 労働者死傷病報告受理件数表」

図表3 「平成30年 死亡災害事例」

図表4 「平成30年 死亡災害発生状況」

図表5 「年別・事故の型別の労働災害発生件数」

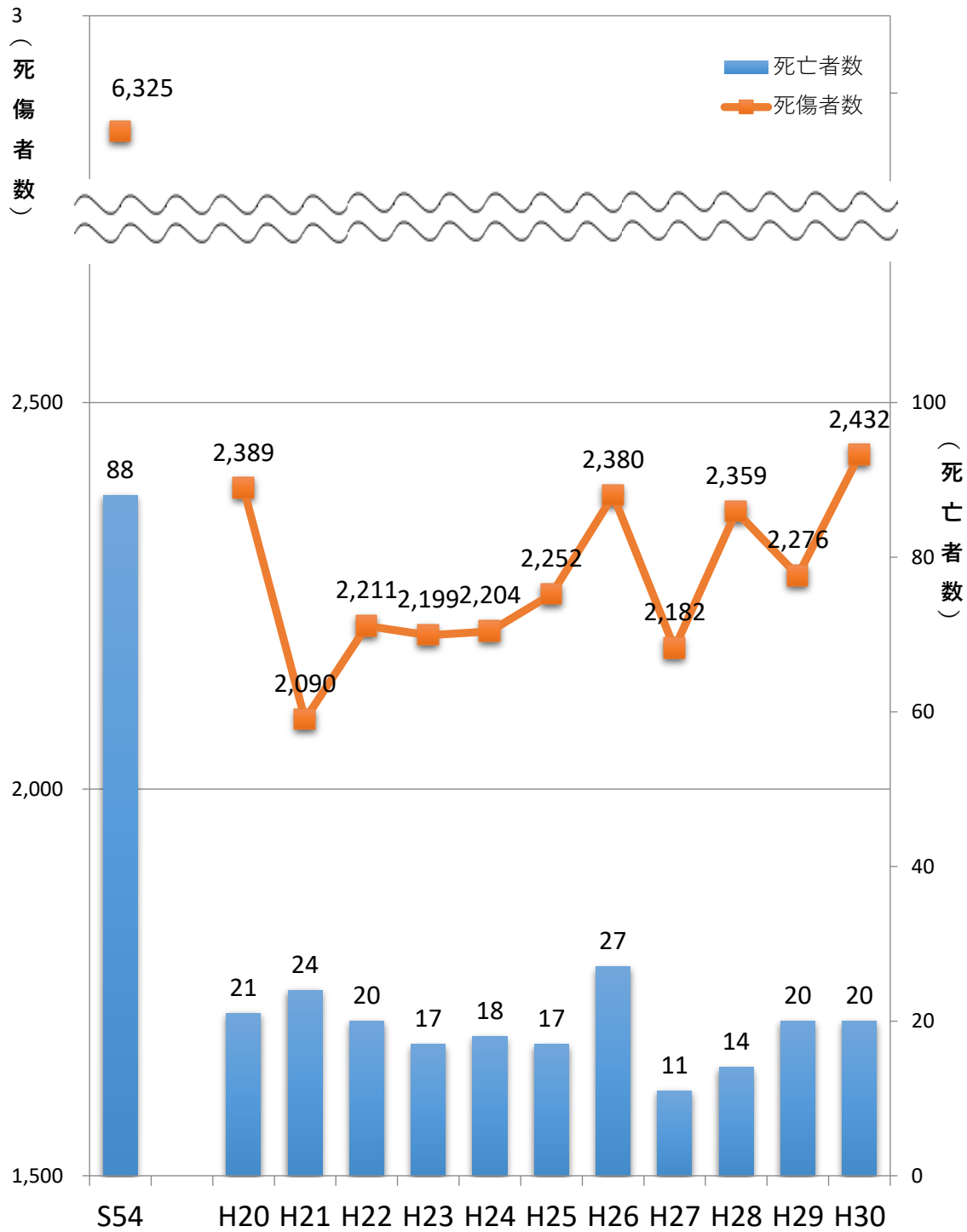
図表6 「平成31年 労働者死傷病報告受理件数表」

図表7 「平成31年 死亡災害事例」

参考 「はさまれ・巻き込まれ災害をなくそう！！」

図表 1

### 群馬労働局管内における労働災害の推移



平成30年 労働者死傷病報告受理件数表

図表2

平成31年3月末確定  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
製造業		1	1					1	3	7	-4	
		142	301	39	241	22	39	8	792	697	95	
	食料品製造業	42	114	7	48	8	5	0	0	2	-2	
									224	213	11	
鉱業		0	1	1	0	0	1	0	0	3	0	
建設業		4			1		1		6	3	3	
		65	83	24	50	21	15	12	270	238	32	
	木造家屋等建築工事	1							1		1	
		13	25	2	9	2	3	2	56	52	4	
交通運輸・貨物取扱業			3						3	3	0	
		54	162	15	74	6	8	2	321	319	2	
	道路貨物運送業		1						1	3	-2	
		49	148	14	67	6	8	0	292	274	18	
林業		1				1			2	1	1	
		5	3	4	0	3	3	4	22	27	-5	
上記以外の事業			2		2	1		1	6	6	0	
		221	407	64	174	58	52	48	1,024	992	32	
		卸売業・小売業	60	132	10	61	7	12	12	0	1	-1
									294	287	7	
		通信業	13	25	5	4	3	4	2	0		0
									56	49	7	
	医療保健業・社会福祉施設	52	83	23	30	15	16	7	1	1	1	
									226	207	19	
	旅館・ホテル業	2	11	1	4	9	1	11	0	0	0	
									39	37	2	
計		6	6	0	3	2	1	2	20	20	0	
		487	957	147	539	110	118	74	2,432	2,276	156	
前年同期		3	6	1	4	1	3	2	20			
		512	849	152	489	103	89	82	2,276			
増減		3	0	-1	-1	1	-2	0	0			
		-25	108	-5	50	7	29	-8	156			

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
転倒災害	114	170	29	103	28	29	31	0	1	-1
								504	464	40
食料品加工用機械災害	4	14	2	5	2	1		0	1	-1
								28	34	-6
建設機械災害	6	9	2	7				0	1	-1
								24	23	1
クレーン・玉掛災害	4	15	1	22	4	1		0	1	-1
								47	45	2
外国人の災害	10	49	3	61	3	5	2	0	1	-1
								133	125	8
公共工事の災害	9	11	1	3	5	2	5	0	2	-2
								36	39	-3
交通労働災害	34	3		1		1		5	5	0
		59	9	27	1	12	1	143	144	-1
荷主先災害	22							0	1	-1
		92	4	17	1	3		139	127	12

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上の労働者死傷病報告を集計しています。  
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。  
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

# 平成30年 死亡災害事例（建設業以外）

## 図表 3

平成31年3月末確定  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	2月 13時頃 16人	50歳代 男 作業者	コンクリート二次製品の出荷前作業で使用する機械を清掃していたところ、機械と機械可動部（プッシャー）の間に身体をはさまれた。	窯業土石 製品製造業	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械
2	3月 12時頃 24人	50歳代 男 作業者	ガラス繊維製のタテ糸を直径10.5cmの鉄心（ビーム）に巻く作業において、手が糸とともに巻き込まれた。	その他の 製造業	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械
3	3月 10時頃 12人	30歳代 男 工場長	スクラップベアリングプレスのピット内（スクラップを圧縮成形する箇所）に立ち入り、詰まったスクラップ材を取り除いていたところ、当該プレスが起動し、蓋が閉まり、ピット内にいた被災者がはさまれた。	その他の 廃棄物 処理業	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の 金属加工 機械
4	3月 11時頃 3人	70歳代 男 警備員	県道の橋上において、橋継ぎ部等の改修工事に伴う車線規制が行われていた。車線規制の途中の路側帯で交通誘導を行っていた被災者が、前方不注意の乗用車に跳ね飛ばされた。	警備業	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク
5	3月 17時頃 68人	50歳代 男 運転手	高速道路上において、大型トラックが、渋滞により減速した大型観光バスに追突した。	道路貨物 運送業	交通事故 (道路)	トラック
6	3月 14時頃 1人	60歳代 男 作業者	2名で立木の伐倒作業中、伐木者が偏心木（胸高直径30cm、樹高22m）をチェーンソーを使用して伐倒したところ、伐倒予定方向からずれ、倒れた先にいた被災者に伐倒木が激突した。	その他の 林業	激突され	立木等
7	4月 9時頃 1人	60歳代 男 作業者	10段の三脚脚立を使用して、松の芽摘作業中、バランスを崩して墜落した。	農業	墜落・転落	はしご等
8	6月 11時頃 8人	30歳代 男 技能者	被災者が、パラグライダーでフライト中、キャノピー（布製の翼部）が窄まり、上空から地面に墜落した。	その他の 接客娯楽業	墜落・転落	その他の 起因物
9	8月 10時頃 6人	50歳代 男 操縦士	県からヘリコプターの運航について委託を受け、新たに開通予定の登山道を視察するため、操縦士及び整備士を含む9名が乗車して飛行していたところ、山中に墜落した。	航空業	交通事故 (その他)	その他の 乗物
10		60歳代 男 整備士				
11	8月 14時頃 33人	60歳代 男 運転者	ガス溶接機を使用して、ドラム缶上部を円周方向に溶断していたところ、ドラム缶が爆発するとともに、ドラム缶から出たガスに着火し、全身やけどを負った。	産業廃棄物 処理業	爆発	引火性の物
12	9月 14時頃 8人	60歳代 男 職員	刈払機を用いて草刈作業をしていたところ、蜂に刺され、アナフィラキシーショックを起こした。	社会福祉 施設	その他	その他の 環境等
13	10月 9時頃 139人	20歳代 男 作業者	自動鍍金ラインにおいて、鍍金液面管理のため手でホースを持って、純水を充填していたところ、加工品を自動搬送しているキャリアーのフレームと通路の柱に頭部をはさまれた。	自動車・ 同付属品 製造業	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械
14	11月 16時頃 2人	70歳代 男 作業者	勾配が20度程度の場所で、造材作業をしていたところ、1か月ほど前に伐倒した木（勾配33度）が約20m上方より、滑り落ちてきて、被災者に激突した。	木材伐出業	激突され	立木等



# 平成30年 死亡災害事例（建設業）

## 図表 3

平成31年3月末確定  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の 型別	起因物別
1	1月 10時頃 3人	60歳代 男 大工	歩み板等のない屋根上で古いFRP製波板を剥がす作業をしていたところ、波板を踏み抜き、約3.7m下の浄化槽に墜落しておぼれた。	民間	おぼれ	屋根
2	2月 16時頃 70人	60歳代 男 作業員	太陽光発電設備の造成工事現場において、立木の伐採作業に従事していた被災者が、胸高直径28cmの伐倒木の下敷きになっているのを発見された。	民間	崩壊・倒壊	立木等
3	4月 14時頃 50人	20歳代 男 管理者	機械用の空調機ユニット（縦3.8m×横1.6m×高さ2.6m、重さ2.9t）を、2個の台車を用いて4人で手押し運搬中、手で監督員として誘導作業をしていた被災者の方向に同ユニットが倒れ、下敷きになった。	民間	崩壊・倒壊	機械装置
4	10月 13時頃 11人	60歳代 男 作業員	県外にある倉庫の屋根補修工事の見積りのため、屋根上で、屋根材の寸法測定をしていたところ、転倒して屋根を突き破り、約7m下に墜落した。	なし	墜落・転落	屋根
5	10月 22時頃 6人	40歳代 男 とび工	県内の工事現場から帰社するため、関越自動車道を走行していたが、途中、路肩に停車し、被災者が本線側に降車した際、後方から走行してきた車両に轢かれた。	民間	交通事故 (道路)	トラック
6	12月 9時頃 2人	60歳代 男 作業員	会社倉庫の外壁補修工事が終了し、足場の解体作業中、隣接する駐輪場の屋根の上にあった工具を取り、駐輪場の屋根から屋根（間隔約80cm）に移動しようとしたところ、高さ約2.3mの屋根から墜落した。	民間	墜落・転落	屋根

# 平成30年 死亡災害発生状況 図表4

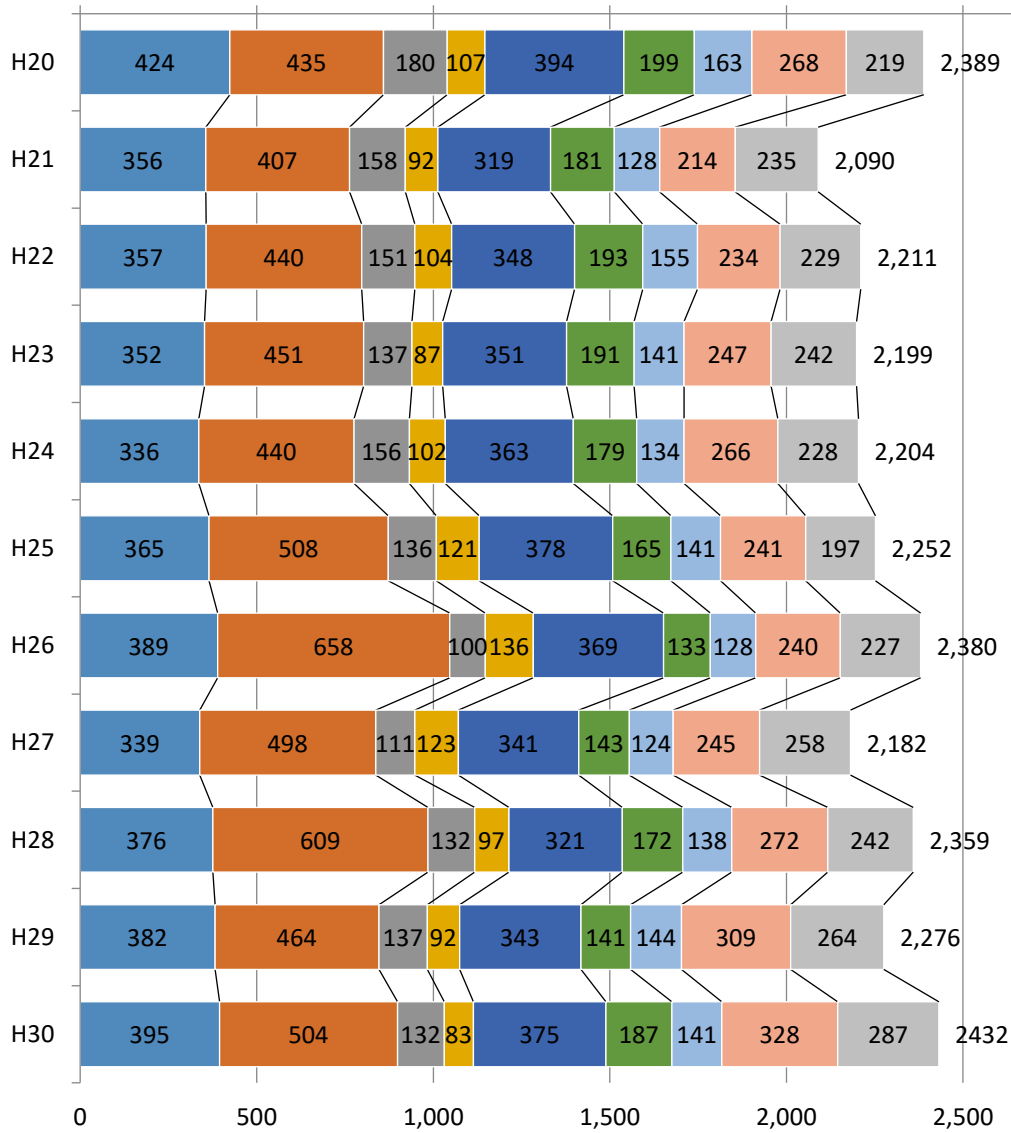
平成31年3月末確定  
群馬労働局

	28年	29年	30年	対28年比	対29年比
製造業	3	7	3	0	-4
鉱業				0	0
建設業	3	3	6	3	3
運輸交通業	2	3	3	1	0
貨物取扱業				0	0
林業	1	1	2	1	1
その他	5	6	6	1	0
計	14	20	20	6	0

図表 5

### 年別・事故の型別の労働災害発生件数

■ 墜落・転落      ■ 転倒      ■ 飛来・落下  
■ 激突され      ■ はさまれ・巻き込まれ      ■ 切れ・こすれ



# 平成31年 労働者死傷病報告受理件数表 図表6

平成31年3月末現在  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		19	53	8	28	1	8	1	0	2	-2
	食料品製造業	6	23	2	11	0	1	0	118	126	-8
建設業		7	12	3	4	1	6	3	0	2	-2
	木造家屋等建築工事業	1	3	0	1	1	0	0	36	42	-6
運輸交通業		14	1	3	10	0	2	2	0	1	0
	道路貨物運送業	6	27	2	10	0	2	2	59	65	-6
林業		2	0	2	0	0	2	1	1	1	0
									7	3	4
小売業		12	1	2	5	3	4	2	1	1	1
									49	41	8
社会福祉施設		3	11	2	3	0	3	1	0	0	0
									23	22	1
接客娯楽業		4	10	1	2	6	0	1	0	0	0
	飲食店	1	7	0	1	0	0	0	24	28	-4
上記以外の事業		16	1	7	17	2	2	3	1	2	-1
	清掃・と畜業	3	34	0	5	1	0	1	81	71	10
計		0	3	0	0	0	0	0	3	8	-5
		77	169	28	69	13	27	14	397	398	-1
前年同期		3	1	2	1	1	1	1	8		
		79	140	31	75	27	30	16	398		
増減		-3	2	0	-2	-1	0	-1	-5		
		-2	29	-3	-6	-14	-3	-2	-1		

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の型別	墜落・転落	10	1	4	16		2	2	1	68	1
	転倒	20	31	5	12	7	6	5	0	106	-14
	はさまれ・巻き込まれ	8	24	5	4		6	1	0	3	-3
	切れ・こすれ	7	9	1	4	1	3		48	61	-13
	動作の反動・無理な動作	13	20	4	12		2	1	0	27	0
起因物別	建設機械等	2	3	1			2		0	4	4
	食品加工用機械		2	1	1		1		8	6	-1
	トラック	5	1	1	11		1	2	5	1	0
外国人の災害	1	19	1	3	1	1		1	28	11	
建設公共工事の災害	2	3				2	1	0	15	3	
								0	6	0	
								8		2	

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。  
 注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。  
 注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

# 平成31年 死亡災害事例（建設業以外）

## 図表7

平成31年3月末現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 14時頃 20人	70歳代 男 作業員	雨どい修理のため、脚立を使用して作業していたところ、バックしてきたフォークリフトが脚立に接触し、バランスを崩した被災者が、高さ約3mから墜落した。	農業	墜落、転落	はしご等
2	2月 17時頃 6人	50歳代 男 販売店員	ガソリンスタンド内において、被災者が構内を通行中、洗車機からバックで移動してきた乗用車に激突された。	燃料小売業	激突され	乗用車・バス・バイク
3	2月 9時頃 4人	60歳代 男 運転者	国道上を中型トラックを運転していた被災者が、対向車線へはみ出し、大型トラックと正面衝突した。	道路貨物運送業	交通事故（道路）	トラック

# はさまれ・巻き込まれ災害をなくそう!!

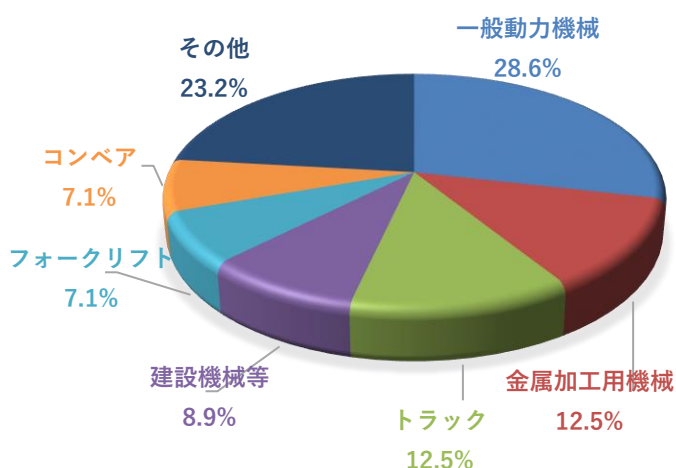
群馬労働局管内において、平成16年から平成30年までの15年間で、はさまれ・巻き込まれによる死亡災害が56件発生しています。

災害の原因で多いのは、**機械を停止せずに機械、設備の点検、清掃を行い**被災したものが最も多く、次いでフォークリフトや車両、重機等の運転や操作中に被災したものが多くなっています。

また、経験期間3年以内の未熟練労働者や、50歳以上の高年齢労働者による死亡災害も多く発生しています。



はさまれ・巻き込まれ災害における  
起因物別死亡災害発生状況 (H16~H30)

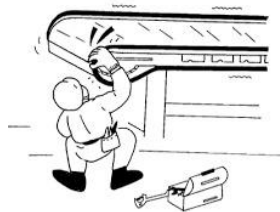


はさまれ・巻き込まれ災害における  
年齢別・経験期間別死亡災害発生状況  
(H16~H30)



~はさまれ・巻き込まれ災害を防止するためには~

1. 機械設備の点検、清掃は必ず機械を停止してから行う
2. 回転部分、駆動箇所にはカバーをつける
3. やむをえず機械を稼働させながら作業を行う場合は、専用の工具や用具を使用する



## 死亡災害事例



年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	起因物別
20歳代 男 作業員	工場内において、派遣労働者と2人でプレス（400t、クランクプレス）加工作業中、被災者が金型内に頭を入れている時、派遣労働者がプレスを起動させ、被災者が頭をプレス機にはさまれ、死亡した。	自動車・同付属品製造業	プレス機械
40歳代 男 作業員	NC旋盤で機械器具の部品（直径6.3mm、長さ215mm）加工後、バリ取りのため、旋盤のカバーを開け回転中の加工物にサンドペーパーを押し当てていたところ、着衣の一部ごと巻き込まれ、頭部を強く打ち死亡した。	機械器具製造業	旋盤
50歳代 男 整備係	13トントラック下部にもぐり、車両のグリスアップを行っていたところ、同僚運転手が被災者に気づかずトラックを発進させたためタイヤに轢かれ死亡した。	一般貨物自動車運送業	トラック
50歳代 男 製造工	作業員が機械装置の異常に気づき、確認したところ、機械装置と産業用ロボットの間にはさまれている被災者を発見した。	非鉄金属製造業	産業用ロボット
40歳代 男 製造工	ウレタン成形機で作業中、成形機内にウレタンのカスを発見したため、それを除去しようとして成形機の可動範囲に立ち入ったところ、成形機が稼働しフレーム部分に胸部が挟まれた。	自動車・同付属品製造業	その他の一般動力機械
50歳代 男 作業員	コンクリートの塊を破碎する装置の稼働中、圧碎部にはさまれている被災者が発見されたもの。	産業廃棄物処理業	混合機・粉碎機
50歳代 男 作業員	全自動の水平・垂直搬送装置（コンベア）において、装置内の床に落ちた用具を拾おうとして上半身を入れたところ、下降してきた垂直搬送機に胸部をはさまれたもの。	食料品製造業	コンベア
30歳代 男 作業員	NC旋盤（ターニングセンター）の主軸に加工物（円柱、製麺機のローラー部、ねじ穴加工をする予定であった）をチャックで取り付けた後、加工物を回転させながらプレ止め固定作業を行っていた際、衣服ごと加工物に巻き込まれた。	機械器具製造業	旋盤
20歳代 男 合板工	合板製造ラインにて、材料をベルトコンベアに流す工程で、電源を切らずに被災者は材料を加工ラインへ送る、送り出し機の調整を行っていたところ、ベルトコンベアが動き出し、送り出し機に挟まれた。	合板製造業	コンベア

（労働者死傷病報告による）

**群馬労働局健康安全課、各労働基準監督署**